

## 政務活動調査報告

2月4日から5日の2日間にわたり、7名の議員がC.L.T工法等の調査を行いました。

1日目は、北見市留辺蘂町の協同組合オホーツクウッドピアで日本初のC.L.Tを使用した非住宅建築・実証建築物(セミナーハウス)を建築している。C.L.Tは直交集成材と呼ばれ、製材を繊維方向が直交するように貼り付けたもので、通常の3倍強の木材を使用し、工期は3分の1に短縮される。ここでは道産カラマツ材を使用しており、森林資源を活用した事業として、今後構造材の需要及び東京オリンピックでの利用が期待されている。

2日目は、鹿追町環境保全センターで、基幹産業である農業と観光業の発展を両立させるために、乳牛ふん尿の適切な処理、市街地周辺の環境改善、バイオマスの資源化を目的として建設され、バイ



オガスプラント、堆肥化プラント、コンポスト化プラントの3つの施設からなる地域資源循環型プラントで、核となるバイオガスプラントは、家畜排泄物・生ゴミ等のバイオマスを嫌気性発酵させることで発生してバイオガスを利用している。発電・熱エネルギーを発生しており、発酵後のバイオマスは有機肥料として活用されています。また、新しい取り組みとして余熱熱を利用して、チヨウザメの試験飼

育、マンゴリーの試験栽培など行っている。各実証事業は民間事業者がそれぞれ事業主体として進めていることが特徴的です。

また、3月2日から3日の2日間にわたり、6名の議員が福祉施設等の調査を行いました。

1日目は大空町東藻琴にある北海道畜産公社道東営業所北見工場で、牛、豚の畜解体処理・部分肉加工のラインなどを視察してきました。

1日の肉畜処理能力は牛で110頭、豚で414頭で、全体160名体制で稼働しており、今後、道産牛肉の流通拡大と海外進出に期待されます。

2日目の1か所目はホクレン中斜里製糖工場で、グランチュー糖を主に製糖している工場です。ビートの1日の処理能力は6千tです。貯蔵量3万tのシュガーサイロ、製糖工場では国内2位の能力を有する大型工場です。

この工場では石炭を砕いた微粉炭ポイラーにて蒸気

を発生させ、タービン発電機にて各機器設備への電力を供給しています。

発電能力は一般家庭約3万世帯分の電力に相当する最大1万5500Kw、蒸気発生量は1時間当たり最大145tの規模を誇る。また、この他に煤を大気中に放出させないため新たに集塵装置を設置するなど、環境対策技術の導入もしています。

2か所目の美幌えくは会が入っている美幌町総合福祉センターは、保健・福祉・包括・健康増進を統合した複合施設で相談・対応ができ、子供からお年寄り、障がいのある人までが安心して利用できる施設です。

美幌えくは会は、主役は利用者との位置づけから利用者との話をよく聞き、作業時間以外の時間を大事にしており、会の役員は福祉関係者の人も多く、会の活動を地域に発信している。

事業は、就労支援B型事業、就労継続支援事業、地域活動支援事業、共同生活援助事業を実施しており、

障がいがあっても就労できよう、住み慣れたまちで、自立を目指し暮らしていけるよう支えています。100名を超える障がいや難病を抱えた仲間があり、一人ひとりが違うものを持って、いることからこそ、各々ができることを行い、お互い足りないものを補い合い「お互いさま」と「OK、オッケー」を合い言葉に活動を行っています。

